

仙台駅

2階スタンドグラス前
入場無料

杜の都コンサート

10月2日(金) 18:00~19:00

[弦楽合奏 渋谷由美子と仲間たち]

出演 YMK Strings 渋谷由美子(Vn)と仲間たち
仙台フィル元コンサートマスター渋谷由美子と
仙台市内を中心に活躍する演奏家、およびアマチュア演奏家による
スペシャルアンサンブル

モーツァルト ディヴェルティメント ヘ長調 K.138
チャイコフスキー 弦楽セレナードハ長調 op.48/他



ヴァイオリン 渋谷由美子

福岡県出身。全日本音楽コンクール西部地区第2位受賞。桐朋学園女子高校進学後は、前橋汀子、篠崎巧子、斎藤秀雄の各氏に師事。桐朋学園大学卒業後の1976年からジュリアード音楽院に留学、フックス、ガリミアの両氏に師事。ジュリアードカルテットのメンバーから室内楽の指導を受ける。在学中に弦楽四重奏団を結成して、アメリカ東部の都市で演奏会を催す。1979年に帰国後は旧宮城フィルハーモニー入団、その後改組した仙台フィルハーモニーで、22年の長きにわたり、コンサートミストレスを務める。現在、アンサンブルdeよこハマのコンサートミストレスのほか、洗足学園音楽大学で後進の指導にあたっている。テレビ西日本賞受賞。

10月3日(土) 16:00~17:00

[ミュージカル SCSミュージカル研究所]

構成・演出 梶賀千鶴子 司会 廣瀬純
出演 SCSドリームキャスト
佐藤 直幸 廣瀬 奏 マリンバファンタジー打音座

シング・シング・シング (『Fosse』より)
クール (『West Side Story』より)
アメリカ (『West Side Story』より)
マリア (『West Side Story』より)
トゥモロウ (『Annie』より)
すてきな友達 (『人間になりたがった猫』より)
悔やまない〜One (『A Chorus Line』より)
忘れないで (『MOTHER』より)
ネバー・ギブ・アップ (『sakura』より)
ありがとう (SCSミュージカルより)



構成・演出 梶賀千鶴子

宮城県生まれ。宮城学院女子大学日本文学科卒。劇団四季「キャッツ」や「ジーザス・クライスト・スーパースター」等の演出補をはじめ、「ユタと不思議な仲間たち」「人間になりたがった猫」等では作家・演出家として活躍。退団後は松本幸四郎主演ミュージカル『ZEMMI』、富田勲オペラ『ヘンゼルとグレーテル』などの演出を担当する一方、1990年、故郷仙台にSCSミュージカル研究所を開設。以来これまでSCSで制作したミュージカル作品数は140を超える。SCSミュージカル研究所主宰、宮城学院女子大学非常勤講師、宮城県教育文化功労者(2010)、宮城県文化芸術振興審議委員(2014~)。



司会 廣瀬純

山形県米沢市生まれ。東北学院大学文学部英文学科卒・舞台プロデューサー、シンガーソングライター。1990年 SCSミュージカル研究所設立。仙台を拠点として創作ミュージカルの制作に従事。近年はプロデューサーとして、2011年に平泉ミュージカルドイツ(フランクフルト)公演、2012年に七ヶ浜ミュージカルの東京(日生劇場)公演なども成功させている。2013年には宮城県などが主催する「常長の祈り」(作・梶賀千鶴子、音楽・上田亨)を制作。SCSミュージカル研究所 代表、(株)彩創屋 取締役、東北学院大学非常勤講師、歌津町教育文化功労者(1999)、米沢市芸術文化協会特別賞(2015)。



テノール 佐藤直幸

宮城県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻(独唱)卒業。Fレハール『メリー・ワイドウ』カミーユ・ド・ロジヨン役、J.シュトラウス『こうもり』アルフレード役等に出演。大学院在学中は藝大フィルハーモニア合唱定期演奏会でB、プリテン『戦争レクイエム』のソリストを務めた。これまでに岩瀬ゆう子、A.L.ランティエーリ、佐藤淳一、吉田浩之の各氏に師事。2013年仙台オペラ協会公演『こうもり』において演出の梶賀千鶴子との出会いを機に、舞台上での声楽的表現と身体的表現の実践にも挑んでいる。



SCSミュージカル研究所

1990年創立。仙台を中心として創作ミュージカルの公演、制作を行う。主宰は演出家の梶賀千鶴子。団体の管理・運営は、設立以来(有)彩創屋が担当し、同社代表取締役の廣瀬純がプロデューサーとして団体の代表と音楽監督を兼務。代表作には『TAROH(タロウ)』『MOTHER(マザー)』等があり、オリジナル作品数は140を超える。このほか映画やCM等への出演協力も多い。SCSを経て劇団四季や宝塚歌劇団等で活躍中の俳優も多い。2013年は、宮城県などの主催による慶長遷葬400年記念ミュージカル「常長の祈り」(作・梶賀千鶴子、音楽・上田亨)を受託制作・上演。2015年はSCS25周年記念作品を準備中。

10月4日(日) 16:00~17:00

[混声合唱 グリーン・ウッド・ハーモニー]

出演者 混声合唱団 グリーン・ウッド・ハーモニー
指揮 今井邦男 ピアノ 石川 祐介

麦の唄
Greensleeves
O Danny Boy
Scarborough Fair/他



指揮 今井邦男

1942年大連に生まれる。東北大学教育学部(音楽専攻)卒業。作曲を福井文彦、高田三郎、指揮法を黒岩英臣、久山恵子に師事。1978年ケンブリッジ州立芸工科大学に留学、指揮法をN.ハーン、合唱指揮法をR.リープに学ぶ。現在、全日本合唱連盟副理事長、宮城県合唱連盟理事長、仙台バツハアカデミー協会会長兼音楽監督、日本合唱指揮者協会会員。グリーン・ウッド・ハーモニー、合唱団「六月の歌声」、コールツェルコーパ等の常任指揮者。コレギウム・ムジウム仙台、IDSP主宰、宮城県芸術選奨、宮城県教育文化功労賞を受賞。他、全日本合唱コンクール全国大会で文部科学大臣賞、宝塚国際室内合唱コンクール金賞受賞。



ピアノ 石川祐介

仙台市出身。山形大学、パリ市立高等音楽院を経て桐朋学園大学院大学(修士課程)修了。第5回ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位、2005アジア国際音楽コンクール第1位、第5回ノーヴィ国際音楽コンクール第3位等、その他コンクールで上位入賞。ソリストとして桐朋アカデミーオーケストラ、外山雄三指揮仙台フィルハーモニー管弦楽団と協演。これまでにピアノを小野崎通男、O.ギャルドン、岩崎淑、野島稔、田部京子らに師事。全日本ピアノ指導者協会、日本演奏連盟協会会員。



混声合唱団 グリーン・ウッド・ハーモニー

1948年、戦災で焼け野原になった杜の都に「再び緑の森を」という願いをこめて設立。合唱団の愛称「緑の森」にちなんでグリーン・ウッド・ハーモニーの名が付けられた。故郷文彦をはじめとする多くの指揮者に育まれ、1974年に現指揮者の今井邦男を迎えて以降積極的に発展。年1回の定期演奏会他、様々な演奏会やコンクール等で活躍し、レパートリーはルネッサンスから現代作品まで多岐にわたる。主な記念演奏会に、徳永隆一郎、関屋喜、黒岩英臣、高田三郎、曾田進夫、辻正行、ヘルムート・リッダ、ミシェル・コルボの諸氏を迎えている。これまでに、宮城県芸術選奨、杜の都市民金メダル受賞、全日本合唱コンクール全国大会に東北代表として金賞を12回受賞。2005年、2010年、2011年は金賞とともに大会第1位にあたる文部科学大臣賞を受賞。

東日本鉄道文化財団では作曲家の池辺晋一郎氏を音楽監督としてお迎えし、2006年より年に2回、春と秋に上野駅「上野の森コンサート」、仙台駅「杜の都コンサート」を実施しております。「日々多くの方が行き交う駅を舞台に、誰もが気軽に音楽を鑑賞できるコンサート」を合言葉に、クラ

シック音楽を中心にしながらも、ジャンルを超えて様々な音楽をお楽しみいただいております。開催回数はこれまで「上野の森コンサート」48回、「杜の都コンサート」59回を数えております。いつもの駅でひとときのコンサート、どうぞお気軽にお立ち寄りください。